

103-164

問題文

抗悪性腫瘍薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. パクリタキセルは、チューブリンの重合を阻害することで有糸分裂を抑制する。
2. プレオマイシンは、活性酸素を発生させ、DNA鎖を切断する。
3. ボルテゾミブは、プロテアソームを活性化することで転写因子NF- κ Bの活性化を阻害する。
4. ラムシルマブは、VEGFR2(血管内皮増殖因子受容体2型)に対するモノクローナル抗体である。
5. カルボプラチンは、HER2(ヒト上皮増殖因子受容体2型)に対するモノクローナル抗体である。

解答

2, 4

解説

選択肢 1 ですが

パクリタキセル（タキソール）は、タキサン系抗がん剤です。微小管に結合して安定化させ「脱重合を阻害」することにより腫瘍細胞の分裂を阻害します。「重合」を阻害ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

ボルテゾミブは、プロテアソーム阻害薬です。プロテアソームを活性化するわけでは、ありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。VEGF をターゲットとしている薬としては、他にベバシズマブ（アバスタ）や アフリベルセプト（ザルトラップ）があります。

選択肢 5 ですが

トラスツズマブ（ハーセプチン）についての記述です。カルボプラチンはプラチナ製剤です。アルキル化剤と類似した作用機序を示します。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2,4 です。